

第6回球磨川橋梁復旧技術検討会

検討会資料

1. 景観整備方針	1
2. 対象橋梁の位置	3
3. 球磨川橋梁一覧	4
4. 各橋梁の色彩検討	5

令和5年3月30日

国土交通省九州地方整備局 八代復興事務所

1. 景観整備方針

(1) 景観整備の基本方針（コンセプト）

- 球磨川の自然、歴史、周辺環境に調和した橋梁
- 復興・地域のシンボルとしての橋梁

評価項目		評価指標
視 点 場	①集落からの視点	○:集落から見える
	②眺めの小路からの視点	○:眺めの小路から見える
	③走行する自動車の車窓からの視点	◎:国道219号から見える ○:県道から見える
	④JRの車窓からの視点	○:JRの車窓から見える
	⑤河川内からの視点	○:ラフティング、川下りのから見られる
	⑥近接橋梁との調和	○:特殊橋梁が近接し、一緒に見られる △:桁橋が近接し、一緒に見られる

橋梁名	①深水橋 (八代市)	②坂本橋 (八代市)	③鎌瀬橋 (八代市)	④神瀬橋 (球磨村)	⑤大瀬橋 (芦北町)	⑥松本橋 (球磨村)	⑦相良橋 (球磨村)	⑧沖鶴橋 (球磨村)	⑨天狗橋 (人吉市)	⑩西瀬橋 (人吉市)	
橋梁形式	鋼単純アーチ橋 (ローゼ桁)	鋼2径間連続 トラス橋	鋼単純アーチ橋 (ニールセンローゼ桁)	鋼単純アーチ橋 (ローゼ桁)	鋼2径間連続 鋼床版箱桁橋	鋼2径間連続 鋼床版箱桁橋	鋼2径間連続 トラス橋	鋼2径間連続 鋼床版箱桁	鋼アーチ橋+鋼箱 桁橋	鋼4径間単純 トラス橋	
写真・ イメージ											
視 点 場	①集落	○	○	○	○		○		○	○	
	②眺めの 小路		○	○							
	③自動車の 車窓から	◎ 国道219号から	◎ 国道219号から	◎ 国道219号から	◎ 国道219号から	○ 県道27号から		○ 県道325号から		○ 県道15号から	
	④JRから	○		○	○	○	○	○			
	⑤河川内から						○ ラフティング	○ ラフティング	○ ラフティング	○ ラフティング	○ 川下り
	⑥近接橋梁 との調和		○ 中谷橋					○ 球磨川第二橋梁		△ 紅取橋	△ 織月大橋

景観整備方針との対応

1. 球磨川の自然と歴史に調和した橋梁					・桁橋	・桁橋		・桁橋		
2. 復興のシンボルとして景観に配慮した橋梁	・アーチ橋	・トラス橋	・アーチ橋	・アーチ橋			・トラス橋		・アーチ橋	・トラス橋
グループ	A	B	A	A	C	C	B	C	D	D

1. 景観整備方針

(2) 景観整備の基本方針（コンセプト）

球磨川の自然、歴史、周辺環境と調和

復興・地域のシンボル

橋種：トラス橋、アーチ橋

見え方（目線位置）：路面から上

国道219号（主要幹線道路）
からの視点

近接橋との一体感

シンボルとして
自然景観との調和

周辺景観との調和

鎌瀬橋（国道219号から）
深水橋、神瀬橋

（国道219号と接続）

参考：
鎌瀬橋（4,216台/日）、神瀬橋（1,720台/日）、
深水橋（619台/日）

グループA

既存橋梁の改修

天狗橋（近接橋：紅取橋、アニメの聖地）
西瀬橋（部分被災）

グループD

赤系色相

坂本橋（近接橋：中谷橋）
相良橋（近接橋：球磨川第二橋）

グループB

見え方（目線位置）：路面から下

橋種：鋼床版桁橋

河川景観との調和

こげ茶系色相
低明度・低彩度

大瀬橋、松本橋、沖鶴橋

グループC

2. 対象橋梁の位置

(1) 対象橋梁の架橋位置

河口平地部

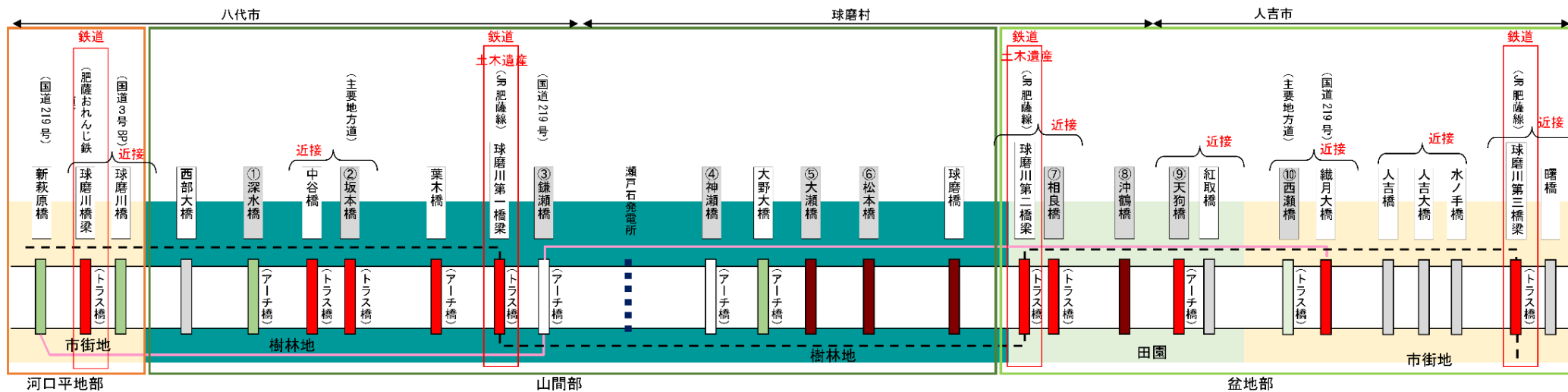
山間部

田園部



市街地部

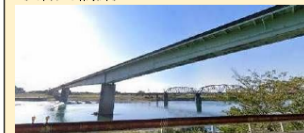
3. 球磨川橋梁一覽



新萩原橋



球磨川橋梁



球磨川橋



葉木橋



球磨川第一橋梁



③鎌瀬橋



西部大橋



①深水橋



中谷橋



②坂本橋



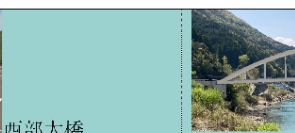
葉木橋



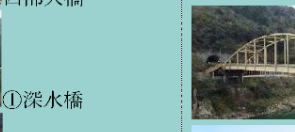
球磨川第一橋梁



③鎌瀬橋



④神瀬橋



大野大橋



⑤大瀬橋



⑥松本橋



球磨橋



④神瀬橋



球磨川第二橋梁



⑦相良橋



⑧沖鶴橋



⑨天狗橋



紅取橋



球磨川第二橋梁

⑦相良橋

⑧沖鶴橋

⑨天狗橋

紅取橋



⑩西瀬橋



鐵月大橋



人吉橋



大橋



水ノ手橋



球磨川第三橋梁



曙橋

4. 各橋梁の色彩検討

深水橋

近接する集落からの視点や明るい河川景観との調和に配慮しつつ、適度なシンボル性を確保するため、“緑色(2.5BG5/6)”を推奨。



朱色 10R5/14



薄緑 10G7/4



緑 2.5BG5/6



推奨色



4. 各橋梁の色彩検討

坂本橋

鉄道駅が近く、明度の低い建物が周囲にあるため、それらとの関係を考慮し、旧橋の赤系色を踏襲しつつ、重厚感があり落ち着いた印象である“濃赤色(5R3/10)”を推奨

朱色 10R5/14



赤 7.5R4/14



濃赤 5R3/10



推奨色



4. 各橋梁の色彩検討

鎌瀬橋

球磨川の中間的な位置にあり、国道に架かる橋梁として、シンボル性を持たせつつ、周辺家屋の瓦屋根等との関係を考慮し、若干明度を下げた無彩色系の“白色(N7.7)”を推奨。



緑 2.5BG5/6



深緑 10BG3/4



白 N 9



白 N7.7



推奨色



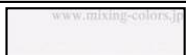
4. 各橋梁の色彩検討

神瀬橋

視界が抜けて明るい河川景観においてシンボリックに映え、周辺の山や護岸等との調和に配慮し、薄っすらとY系色を入れた暖色系の“白色(5Y8.5/0.5)”を推奨。



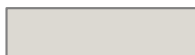
白 N 9



薄緑 10G7/4



白 2.5Y8.5/0.5



白 5Y8.5/0.5



推奨色

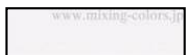


4. 各橋梁の色彩検討

神瀬橋



白 N 9



薄緑 10G7/4



白 2.5Y8.5/0.5



白 5Y8.5/0.5



推奨色



4. 各橋梁の色彩検討

大瀬橋

桁形式のシンプルな形状であること考慮し、背景の山並や河川の自然景観への馴染みに配慮し、“こげ茶色(10YR2/1)”を推奨。

こげ茶 5R2/1



推奨色



深緑 10BG3/4



グレー N6



4. 各橋梁の色彩検討

松本橋

桁形式のシンプルな形状であること考慮し、背景の山並や河川の自然景観への馴染みに配慮し、“こげ茶色(10YR2/1)”を推奨。

こげ茶 5R2/1



推奨色



深緑 10BG3/4



グレー N6



4. 各橋梁の色彩検討

相良橋

近接する球磨川第二橋梁が再建されることを想定し、鉄道橋との差別化を図りつつ、明るい河川景観に映える、旧橋と同様の“赤色(7.5R4/14)”を推奨。



朱色 10R5/14



赤 7.5R4/14



推奨色

濃赤 5R3/10



4. 各橋梁の色彩検討

沖鶴橋

桁形式のシンプルな形状であること考慮し、背景の山並や河川の自然景観への馴染みに配慮し、“こげ茶色(10YR2/1)”を推奨。

こげ茶 5R2/1



推奨色



深緑 10BG3/4



グレー N6

